

魔女と王さま 一言ネーム  
04 ミニネーム



2022/05/17



エリー(ELYE)



# 目次

魔女と王さま 20220510 ストーリーまとめ 04 一言ネーム 01 . . . . .	1
ミニネーム . . . . .	20
メモ . . . . .	22



## 魔女と王さま 20220510 ストーリーまとめ 04 一言ネーム 01

魔女と王さま 20220510 ストーリーまとめ 04 一言ネーム 01

ネームを書いた後で、小説にしてネットで無料公開します。

そして

会議の様子は TRPG へ

昼は会議で大勢と。

→トゥンリリミス TRPG 会議です！「貧困改革実現会議」

夜は会食で王バニラと王妃クミンと魔女ニニーの3人で。

→トゥンリリミス TRPG 物語です！「ニニーとバニラとクミン」

01A

テーマとは「愛の形は結婚だけじゃない」であり、

その作者の時代に対するスタンス。

みんなは「シンデレラは王子に会う」と思っているだろうけど、

わたしは「王子に会わずに自分の道を究めて大人になってから出会った方が面白い」と

思っている！！！！

★迷ってる

登場人物 1 魔女ニニーの主義は

実力実力でびっくり第一主義

血で飛ぶと言われ、誰でも使える技術を求める。

登場人物 2 王バニラの主義は

表は自国の利益第一主義。

自分では計画しないで、いろんなひとに実行させて、勝ちそうなものに予算を付ける。

勝ち馬にスイッチングすることで計画者に負けを押し付ける。

本当は自分がやりたいけど、それが王の務めと受け入れた。

裏の顔はニニー第一主義

自分が計画して挑戦して結果を受け入れたいのに、国を守るために仮面をかぶっている。

その辛さをニニーを愛することで癒している。

登場人物 3 王妃クミンの主義は

職業王妃としての誇り第一主義

王バナラに想い人がいると分かってても帝王学を叩き込まれたクミンの心は折れない。

ニニーはバナラの推しであり、自分はバナラの戦友と考える。

01D

ニニー：実力でびっくり第一主義

「王子の顔！ ぷ」

「ほうきなくても移動できるようにする！」

バナラ：

表：自国の利益第一主義

「唯一の機関である国が負けてはならぬ」

裏：ニニー第一主義

「ニニーが隣にいてくれたら」

クミン：職業王妃第一主義

「想い人がいるのね。だけどわたしも相当いい女よ」

待ってる様子のバナラに対して出会いのシーンで言う。

あらすじ

1 王バナラ

王バナラが魔女ニニーと出会って振り向いてもらえない話。

2 王妃クミン

王妃クミンが舞踏会で選ばれ、来なかったニニーのことを調べる話。

3 ガールナルミス

魔女ニニーが精神世界で魔女リリーにあって平行世界の最先端でどんな問題が起きるか知り、発展のさせ方を考える話。

4 魔女ニニー

ニニーの計画を知った国が、王妃クミンの客ときてお茶に招待する話。

## 02B

### 第1話「王バナラ」

#### 起

トゥンリリミスと魔女について  
魔女試験でのバナラとニニーの出会い

#### 承

コレドナ感：好きな人が会いに来ない！  
コレドナ感を受けて  
主人公がしたいこと

1. 王妃が無理なら王宮付き魔女になってもらおう！
2. 辺境を渡り歩くなれば外交で安全をはかろう！
3. どうしても来てくれないならどこにいても大丈夫なように国を改革しよう！

ニニーがしたいことは、自分の目で見え残す技術を選ぶこと。

#### 転

読者に「寛大な愛だな」と思って欲しい

完全にあきらめていたのにニニーから改革案の応募があった。  
結果など関係なく採用してあげたい！！  
それでは王として勝ちそうなものに乗ることができない。  
王家に生まれなければと嘆く。  
しかしクミンに「呼んで話を聞いてから決めればよいではありませんか。他の人ならそうしたでしょう？」と言われる。  
好きなあまり過剰に反応していたことを反省してニニーを呼ぶ。

#### 結

城に入るニニーの遠景

## 02A

### エピソード1

- 1 パラレルワールドについて。知って欲しい！
- 2 キャラ立て  
バナラが魔法使いになって研究して国を変えたいという。自分がやりたい！
- 3 コレドナ感  
ニニーの魔法使い入試を見て勝てないと思う。妻に欲しい！  
ニニーは王子をびっくりさせたくて塔から落ちて、低空飛行で横を滑走して、急上

昇した。そして「あの顔」(ぷ)と面白がる。そしてあとで「からかうな」と怒られる。

4 しかし舞踏会で12時までまってもニニーは来なかった。がっかり

王にめとれいわれ、招待客のクミンについてレクチャをうける小コマ入れる。

5 そのころニニーは謎の儀式をしている。知りたい！

精神世界にいった話をしたらみんな驚くぞのワクワクした顔。

6 王宮付き魔法使いになってほしい。期待する

7 辺境に行ってしまう。嫌われているのか？

8 外交でニニーを守ろう。無事でいて欲しい。

9 クライマックス

あきらめて国を守ることで愛を貫こうとしたらニニーから改革案が届いた。嬉しい。

しかしニニーだから採用したらえこひいきでは。葛藤。

クミンが気づいて助言する。呼んで話を聞こう。

10 ニニーが城に来る。期待して見守る。

【一言ネーム】

1 とびら：王座に座るバニラ

トゥンリリミス寓話「魔女と王さま 1話 王バニラ」(エリー (ELYE))

E01 パラレルワールドについて。知って欲しい！

2 いくつもある地球

「並行世界は粒子の性質を持つ」

「位置により文明の進み具合が違う」

3 わたしたちの地球

「わたしたちの世界、ガールナルミスでは2022年だが」

地理の違う地球

「かれらの世界、トゥンリリミスはまだ中世」

E02 キャラ立て

4 図書館に籠り、国を豊かにする計画を立てるバニラ

「僕がこの国を変えるんだ」

5 父親に否定される

「競争させて勝ち馬に乗ることこそ王の役目」

6 魔法使いの試験がある。

「出たい！」

ほうきの練習

7 教育係のニニーの義父にたしなめられる



「右腕に相応しいものがないならお受けなさい」

### E03 コレドナ感

8 低い木からほうきに乗りそこなって地面に叩きつけられる訓練生たち

「やはり自分こそふさわしい」

9 高い塔の天辺からニニーが落ちて真横をすり抜ける

「彼女は誰だ！」

10 雲を突き抜けるニニー。

「王子の顔」(ぷ)。

義父に「からかわない」と叱られる。

11 ニニーが消えた空を見上げ、憧れるバニラ。

「妻に欲しい」

王に「(妻に欲しいなら) 秋に招待しなさい」と言われる。

04 しかし12時までまってもニニーは来なかった。がっかり

12 舞踏会で人々と談笑する

「ニニーは来るだろうか？」

13 鐘が12時を告げる

「王子としての勤めを果たさねば」

14 クミンが声を掛ける

「想い人がいるのね。でも王妃は望まなかった。わたしは違うわ」

15 自分と同じ王家の人間と知り、親しみを感じる。

「妻には国に縛られることに慣れている人間が相応しい」

5 そのころニニーは謎の儀式をしている。知りたい！

16 満月の夜に謎の儀式をしている。

「いける！」

17 満月のアップと舞踏会で踊るバニラとクミン

6 王宮付き魔法使いになってほしい。期待する

18 魔法使いの卒業式当日の朝

主席のニニーは王宮付きだと信じて疑わないバニラ。

嬉しくて仕方がない。

19 クミンも一緒に喜んでいるが、わたしの口からは言えないって思っている。  
さりげなくフォローする。

7 辺境に行ってしまう。嫌われているのか？

20 卒業式で辺境使者となるニニー。

バニラ「嫌われているのか？」と独白。

21 王を気づかうクミン。

クミン「ニニーには事情があるのかも」

クミン「王にしかできないことがあるはず」

8 外交でニニーを守ろう。無事でいて欲しい。

22 山奥の街

林業と畑仕事を学ぶニニー。

技術をモモと工夫してる。

23 国策として第一次産業に力を入れるバニラ。

道路網の整備。

24 サンサリーンに行くニニー。

工業を学ぶ。

見世物の蒸気機関に驚いて質問しているニニー。

25 貿易と外交に力を入れるバニラ。

技術者を招待する？

9 クライマックス

26 歳月は流れ、30年後。

もうニニーは来ないだろうとあきらめているバニラ。

27 フォローするクミン。

クミン「ニニーが世界のどこにいてもいいように政治をしっかりとしましょう」

28 ニニーを見守り、各地の様子を知ったバニラは改革案を募集する。

29 ニニーから応募が来る。

30 突飛なアイデアだが悪くなる。採用してあげたい。だがニニーだから採用したら不公平だ。葛藤。

31 クミンの助言

「他の人なら話を聞いてから考えるでしょう？」

1 0 ニニーが城に来る。期待して見守る。

3 2 城に近づくニニーの遠景。

「とうとう彼女に会える」

## 第2話「王妃クミン」

起

王妃としての帝王学を学び、国を背負うことに使命を感じる。

コレドナ感

どの男も気に食わない！

クミンがしたいこと

いろんな舞踏会に行くが、誰も気に入らない。

この人ならと思った王バニラには想い人がいる。

くるのか、こないのか？

来なかったようだ。

王バニラに声を掛ける。

婚約。

ニニーの出生を調べる。

回想：初代魔法使いについて知る

推し（永遠の恋人）という認識をする。

相手がしたいこと

ニニーは満月の夜なので精神世界に飛んでいた。

転

読者に「愛の形はいろいろだな」と思って欲しい

結婚

初夜に自分にも優しいバニラのためにより国にしようと思う。

結

王座に王とならぶ王妃

02A

1 三国の関係

2 帝王学を叩き込まれる。国を背負うぞ！

3 嫁に行かねばならぬ。どいつも気に入らぬ！

4 「国の習慣が似ているから」とバニラをすすめられる。

## 5 舞踏会にいったら

ずっと外を見ていて誰かを待っている。

そつなく対話をこなすコミュカの高さ！

12時になり諦めて切り替え決断した！

→想い人がいてもお子の人なら！

## 6 王子に声を掛ける。王妃に相応しいのはわたし！

## 7 来なかったものを調べてニニーのことを知る。

## 8 初代魔法使いマグノリアの孫と知る。ニニーのこと知りたい！

## 9 王にニニーのことを話す。やっぱり彼女か！と思う。

初夜の場面でニニーのことを話した後で、自分にも優しいバナラが自分の推しになる。

## 10 王座に並ぶ王バナラと王妃クミン。国を導くのはわたしたち！

## 【一言ネーム】

## 1 とびら：庭園でお茶する王妃クミン

トゥンリリミス寓話「魔女と王さま 2話 王妃クミン」(エリー (ELYE))

## E 1 三国の関係

### 2 島国にある3国の位置関係

大陸の北：ルビマンダ共和国：工業国

大陸の南：エルメダーラ王国：農業国

大陸から南東の島：サンサリーン王国：宗教の聖地で観光立国

### 3 グリーン教の聖地サンサリーン王国の祈りの様子

## E 2 帝王学を叩き込まれる。国を背負うぞ！

### 4 無邪気な幼いクミンが木の登って遠くを見ている。

「未来の王妃に相応しくない！」

### 5 王は物質面、王妃は感情面に気を配るのが役割と帝王学を叩き込まれる。

### 6 おしゃれとダンスのレッスン。

王は血統だが、王妃は舞踏会で選ばれねばなれない。

### 7 教養と会話のレッスン。

品性こそがすべて。どんな危機でも祝福するのです。

## E 3 嫁に行かねばならぬ。どの男も気に入らぬ！

### 8 あちこちの舞踏会に出席する。

どの貴族も気に入らぬ！

- 見た目ばかりで中身がないわ！
- 9 やはり王でなければ  
しかし外国に嫁に行くことになると躊躇。
- E 4 習慣が似ているし、評判もいい王子バニラをすすめられる。  
顔のいい男はしょうもないと否定。
- 1 0 親と兄弟たちの会食  
習慣が似ていて、評判も良い王子バニラをすすめられる。
- 1 1 顔がいいやつにろくな奴はいない！  
乗り気じゃないが、どうしても王妃になりたい。
- E 5 舞踏会にいったら
- 1 2 そつなく会話をこなす王バニラをみて  
顔だけではないと興味を持つ。
- 1 3 バルコニーで誰かを待っている様子。  
先約がいるのかとがっかりするが、来なかったら声を掛けようと心に誓う。
- 1 4 鐘が12時を告げる。  
どうするこの男。  
気持ちを切り替え、決断した。
- 1 5 今がチャンス！  
近づいていく。
- E 6 王子に声を掛ける。王妃に相応しいのはわたし！
- 1 6 「想い人がいるのね。でも王妃は望まなかった。わたしは違うわ」  
わたしと国を支えましょう！
- 1 7 ダンスを踊りながら、王妃の座さえ手に入れば、愛など要らぬと誓う。
- E 7 来なかったものを調べてニニーのことを知る。
- 1 8 結婚式  
国中に祝福される
- 1 9 舞踏会に来なかったものをしらべさせニニーを知る。  
→回想へ
- E 8 初代魔法使いマグノリアの孫と知る。ニニーのこと知りたい！

- 2 0 初代魔法使いマグノリアがサンサリーンで神グリーンに祈り、声を聞く。
- 2 1 神が人を認知する。  
グリーンさまを女神と崇め、恋人のように恋い慕うマグノリア。  
そんな歌をマグノリアが歌う。
- 2 2 そして神は人を祝福し、人に神の運命を委ねる。  
ここはインスト。神はしゃべらない。
- 2 3 「神が人を認知し、祝福した記念」として祝祭の歌が歌われた。  
ニニーが最初に歌っていたやつ「なーなーなー」
- 2 4 そして歌姫とマグノリアの間に生まれたの次女でニニーの母。
- 2 5 マグノリアの妻(母)の後を継いで祭典の歌を歌っていたが、ニニーが16才の時になくなる。

#### E 9 初夜

- 2 6 王にニニーのことを話す。  
バナラの様子で彼女だと分かる。
- 2 7 本当は魔法使いになりたかったと話すバナラ  
立案して実行したかった。
- 2 8 でもニニーには勝てないと思い、魔法使いをあきらめ妻にと望んだが.....。
- 2 9 初代の孫だもの、王妃より魔法使いが相応しいと釘を指すクミン。
- 3 0 そなたが王妃になってくれてよかった。
- 3 1 ニニーを想っていても、わたしも愛してくださいのね。  
愛をあきらめていたのに嬉しい。

#### E 1 0 王位を継いで王座に並ぶ王バナラと王妃クミン。

- 3 2 王冠受けすぎ、二人で王座にならんで座る。  
国を導くのはわたしたち！  
バナラも含め、エルメダーラ王国はわたしが守ります！

#### 第3話「ガールナルミス」

起

- リリーは、救済第一主義  
ニニーは、びっくり第一主義

二人は精神世界で会っている。  
願いを託される。

コレドナ感  
モモを魔女試験に推せない。  
強烈に憎まれる。

コレドナ感を受けて主人公がしたいこと  
魔法がなくても使える技術の発達。  
列車や車というものの話をする。

承  
座学中心のガールナルミスを否定して、働きながら学ぶ実践教育プランを計画する。

農具を改良する工房を作るため、ルビマンダ共和国から技師を呼ぶ。

転  
読者に「ニニーたちには違う歴史を歩んでほしい」と思って欲しい。

結  
呼び出しの知らせを受けて、勝負に出かける魔女ニニー

## 02 A

1 母が死んだ日、祖父に日記をもらう。悲しいけど解説してびっくりさせようとするが、涙で読めない。

2 舞踏会の日は満月で、儀式に最適。精神世界にいきたい！

3 精神世界でリリーに会い、願いを託される。わたしならできると自信を持つ。

4 舞踏会に行かなかったニニーを探しに来た義父に精神世界にはいけないと否定される。  
信じてくれる人がいるかもしれない。

懲りずに話して、更に先の展開の話がされて、ニニーがびっくりさせられる。

それが秘密にされた理由と知る。

5 仲間と色々なことに取り組む。

6 王都を離れて田舎の貧しさを目の当たりにする。機械は必要だ。だが結末は貧富の格差。どうしたら。

→教育改革

7 外国にもいってみよう。蒸気機関の技術者に出会う。

→技術の輸入

8 今ある仕組みを洗練させることに意義を説き、ローサイクルを構築しようとする。

9 王バニラの募集にローサイクルを残す意義を説く。王なら理解してくれるかも。金を

引き出したい。

1 0 王都に呼ばれる。王と王妃の待つ中庭に現れるニニー。

【一言ネーム】

1 とびら：満月を背景にほうきで滑空するニニー

トゥンリリミス寓話「魔女と王さま 3話 ガールナルミス」(エリー (ELYE))

E 1 母が死んだ日、祖父に日記をもらう。悲しいけど解説してびっくりさせようとするが、涙で読めない。

2 魔法使い試験の通知を見せに母をたずねる

1 月。

しかし母はいない。

3 台所で倒れている。

4 葬儀で見知らぬ老人(マグノリア)が現れ、ニニーに日記にを渡す。

5 みんなをびっくりさせたくて葬儀の最中に読み始めるが、涙で読めない。

E 2 舞踏会の日が満月で、儀式に最適。精神世界にいきたい！

6 城では舞踏会が開かれ、王バニラがバルコニーでニニーを待っている。

ニニーにも招待状は届いている。

7 しかしニニーは魔法陣で呼吸を繰り返している。

みんなに精神世界の話がしたくて嬉しくてニコニコ。

E 3 精神世界でリリーに会い、願いを託される。わたしならできると自信を持つ。

8 ニニーの体がくったり倒れる。

空中に浮いている感じがする。

9 空をこえて地球を見るニニー。

雲の地面の世界に着く。

1 0 リリーに会い、この先の未来の話を聞く。

「トゥンリリミスが希望」

1 1 機械、電気、コンピューター、貧富の格差と混乱する。

1 2 スマホを見せられ、動画に驚くニニー。

そこにはマグノリア(あの時の老人!)とリリーの姿がうつっている。



- 1 3 グリーンさまを助けるために、危機を回避してと託される。  
この話をみんなにしたらびっくりするぞ！ と思う。
- E 4 舞踏会に行かなかったニニーを探しに来た義父に精神世界にはいけないと否定される。  
信じてくれる人がいるかもしれない。  
懲りずに話して、更に先の展開の話をして、ニニーがびっくりさせられる。  
それが秘密にされた理由と知る。
- 1 4 魔法陣で倒れるニニーを発見して、グリーンさまに祈る義父  
1 5 ニニーが意識を取り戻し、「おじいちゃん、リリーさんと叫ぶ！」
- 1 6 「その伝承は禁忌として削除されたはず。なぜ知っている」と言われ、葬儀の日に日記をもらったと言う。  
1 7 「あるようにある。我らだけ避けてはならぬ」と否定される。
- E 5 仲間といろんなことに取り組む。
- 1 8 魔法使いの課題として近郊の農村に行く。  
みんなをびっくりさせようと精神世界の話をしたら、みんな知っていてびっくりする。  
マグノリアの生まれ故郷で訪れていた。
- 1 9 なぜ禁忌になったのか理由が分かる。  
回避するために違う行動を取ったら、新たな問題が生まれる。  
その課題をクリアしない限り、結局、同じ流れに引き戻されることを知る。
- E 6 ガールナルミスの反省として教育改革に力を入れる。
- 2 0 魔女志願のモモどうしてもほうぎに乗れない。試験の推薦を断り憎まれる。  
「ニニーは血で飛んでる」と言われる。
- 2 1 「誰でも使える技術を手に入れよう」と科学者をモモに進める。  
→モモがローサイクルを設計する
- E 7 工業国の技術をモモに学ばせたい！
- 2 2 国外にモモを連れて行こうとして足止めされる。しかし王の力で行けることになる。  
2 3 「王バナラさまのお力」と使者が恩を着せてくる。  
使者にはむかつくが、王バナラの政治手腕に感謝するニニー。
- 2 4 モモは列車に初めて乗って感激する。  
→ほうぎがなくても移動できる本当だった。

25 モモは残り、学ぶことになる。

E8 今ある仕組みを洗練させることに意義を説き、ローサイクルを構築しようとする。

26 道具を洗練しつつ、機械化、コンピュータ化をすすめる一方で、古い技術を残すためにはシンプルな機械を使う人が必要。

思考をまとめていく

27 最新の競争社会と安定した共同社会を作ってはどうか？

ひらめく

E9 王バニラの募集にローサイクルを残す意義と住み分けを提案する。王なら理解してくれるかも。

28 村で教育改革に励むニニーが、王が貧困を解決する方法を募集していることを知る。

29 ともかく計画書を書くことにする。

モモが戻って、手伝ってくれる。

30 優れた王バニラなら分かってくれるだろうか？

期待して知らせを待つ。

31 届いたのは採用通知ではなく、王妃クミンからの招待。疑問に思うが金を引き出すため行くことに。

E10 王都に呼ばれる。王と王妃の待つ中庭に現れるニニー。

32 笑顔の王バニラと王妃クミンが待つ中庭に現れるニニーの後ろ姿。

#### 第4話「魔女ニニー」

起

王と王妃に呼ばれてお茶会に行くニニー。

ニニーは、工場を作る金を引き出したい

バニラは

表は、提案を吟味したい

裏は、ニニーと話せて嬉しい

クミンは

表は、国の一大事を図りたい

裏は、バニラに喜んで欲しい

承

コレドナ感

ニニーの提案は受け入れられるのか？

コレドナ感を受けてニニーがしたいこと

全国規模で展開したい

バナラがしたいこと

気持ちを伝えたい

王妃がニニーの母に似ているため「お母さん」と呼んでしまう。

王妃にばかり話しているからバナラがやきもちをやく。

大臣たちは、突飛な辺境使いのアイデアを受け入れるのはアピールになるが、採用はしたくない。

転

読者に「対等な関係素敵」と思って欲しい。

結

人々が城に集まってくる遠景。

02 A

1 王と王妃がニニーをもてなすために尽力している。

大臣は、アピールに利用したいが、採用はしたくない。

2 キャラ立て

大臣の恩着せに、「向かい風を感じる」とニニー。

3 コレドナ感

バナラの想いをなにも知らないニニー

ニニーが推しの王バナラ

王バナラが推しだからニニーを大事にするクミン。

どうなる？

→ニニーがクミンをお母さんと呼んでします。

4 精神世界に行った噂は本当なのか？

王バナラ「なんでもわかるのか？」

魔女ニニー「行動を変えたらどうなると思いますか？」

クミンが「新たな問題が起きると気づく」

5 未来予知で問題を回避したわたしたちが、まったく未知の未来に対処できなくなるこ

とを恐れ、初代魔法使いマグノリアは禁忌として封じたのです。

6 なぜそれがニニーの手に？

ガールナルミスでは二度の世界大戦で大勢死にました。

それを回避するために生まれたのが、グリーン教の神は人次第というマグノリアの教えです。

わたしたちはすでに違う歴史を歩んでいる。

7 説得する。

8 大臣の反対

9 王の決断

10 会議のために人が集まってくる。

【一言ネーム】

1 とびら：クミン、ニニー、バニラが並んでいる姿

トゥンリリミス寓話「魔女と王さま 3話 魔女ニニー」（エリー（ELYE））

E 1 王と王妃がニニーをもてなすために尽力している。

2 ニニーを迎えるために王妃クミンが母国のお菓子を焼いている。

3 ニニーを迎えるために王バニラは庭のバラを摘んでテーブルに飾っている。

4 大臣が王バニラに「広く意見を聞くアピールに利用しましょう。しかし採用は無謀です」と進言する。

5 「王の立場は踏み外さない。だから非公式に王妃の客として招いたのだ。聞いてダメなら記録に残さぬ」と諫める。

E 2 キャラ立て

大臣の恩着せに、「向かい風を感じる」とニニー。

6 大臣がニニーに「わたしがそなたを推したのだ。忘れるな」と言う。

「向かい風が吹いている」と感じるニニー。

7 王と王妃がまってるのに話し込む。

自分がしてきた実践の話を兵士詰所でする。

モモたちの村の出身者がいる。

E 3 コレドナ感

なにも知らないニニー

ニニーが推しの王バニラ

王バニラが推しだからニニーを大事にするクミン。

どうなる？

8時間になってもなかなかこないニニー。

探し回ってみんなと盛上っているところを捕まえられる。

9 王バニラと王妃クミンが満面の笑みで後ろ姿のニニーを迎える。

しかしニニーはクミンの作ったお菓子に反応する。

→いきなりたべ始める。

E 4 精神世界に行ってみてきたというのは本当なのか？

E 5 未来予知で問題を回避したわたしたちが、まったく未知の未来に対処できなくなることを恐れ、初代魔法使いマグノリアは禁忌として封じたのです。

10 やりとり

王バニラ「精神世界に言ったのは本当なのか。なんでもわかるのか？」

魔女ニニー「行動を変えたらどうなると思いますか？」

クミンが「.....新たな問題が起きると気づく？」

11 理由

ニニー「知ってるから回避できるを繰り返すと弱くなります。だからマグノリアは禁じました」

王バニラ「考えなくなることを恐れてか.....」

ニニー「それは教育でも同じです。やる前に教えれば知らないことをしなくなります」

E 6 なぜそれがニニーの手に？

ガールナルミスでは二度の世界大戦で大勢死にました。

それを回避するために生まれたのが、グリーン教の神は人次第というマグノリアの教えです。

わたしたちはすでに違う歴史を歩んでいる。

12 実はマグノリアが最初に精神世界にいったわけではないのです。

ガールナルミスでは、神は人とは別の存在で、人を導きます。

神の体内は異端思想

13 太古のシャーマンたちが

世界との一体感を

忘れないように

-

グリーン教として広めたのです。

-

つまり、わたしたちは既に別の未来を歩んでいる。

E7 説得する。

14 王バニラ「ニニーの計画では  
田舎で農業を教えて 16 さいで都会で競争させて  
負けたものを田舎に回収するそうだが」  
王妃クミン「誰も帰らなかったらどうするの？」

15 ニニー「ガールナルミスでは田舎は過疎に苦しんでいます。しかし一人一軒の個別住宅を作り、衣食住が保証されればたべられない人は戻るでしょう。実際、マグノリアの故郷では戻ってます」

16 子どもの教育や起業を促すためには、学ぶ場所と作ったものを使う人が必要です。  
工場のような大規模なものをつくるなら、ある程度まとまった人数が必要です。  
そとためには人と物と金が必要です。

17 王家には資金を出していただきたい。  
設計はわたしがします。  
バニラ「口を出すなということか？」  
大臣が呼びに来る。

18 王妃が、王はニニーに恋して、ずっと陰ながら応援してたと教える。

19 そういえば、困ったときには王の支援があったことを思い出す。わたしのため！？

20 お気持ちはうれしいのですが、辺境使いの魔女をひいきするなど王としてどうかと思います。

21 戻ってきた王が聞いている。  
王バニラ「わたしが嫌いだから舞踏会にもこなかったのか？」  
ニニー「いえ。わたしはわたしの実力で人々を驚かせたいのです」

E8 大臣の反対

22 王バニラ「では大臣の前で有用性を証明してみせよ」  
ニニー「国民にこそ訴えたい」  
王「では明日、バルコニーで演説して説得してみせよ」  
王妃「今日は城にお泊まりなさい」

23 ニニー「興奮して眠れない。久しぶりに飛んでみよう！」  
フードを被っただれか追ってくる。  
森を抜け、急上昇してもついてくる！

24 振り返った瞬間、フードを取る。

王バニラ！？

放棄に乗れたの！？

王バニラ「よほどわたしを振るのが好きとみえる」

王バニラ「わたしの記憶はニニーでいっぱいだ。ニニーの思い出にわたしはいなかったのか？」

25 思い出す(3段の上2つ)

ニニー「……いた、かも」

バニラ「それで満足」

## E9 王の決断

26 城に集まる人々

ニニーのうわさをしてる

27 王と王妃が現れる。

シーンとする。

ニニーが現れる。

28 「わたしは予言します。近い将来必ず機械化が進み便利になります」

「そして他人次第の暮らしになります」

「便利だが不安な暮らしです」

29 「自分たちが扱える技術を残し、誰もが身に付け使い続ける必要があります」

「と同時に、最先端を競わなければ国が弱体化します」

「伝統か、最新か、選べる機会がほしくないですか？」

30 パラパラと拍手が起きる。

やがて大歓声になる。

31 王バニラ「みなのは気持ちはわかった」

大臣の悔しそうな顔。

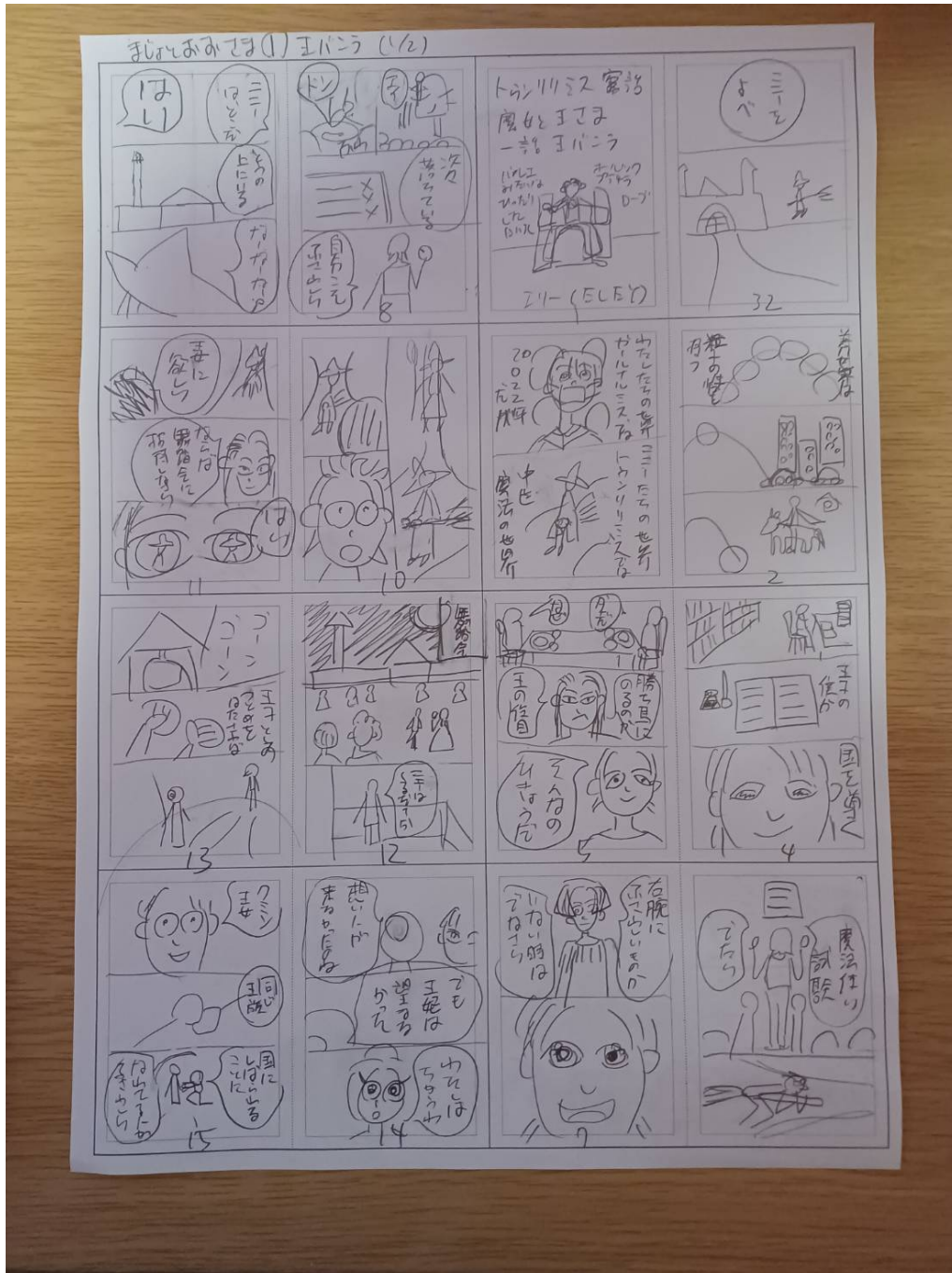
王バニラ「王バニラの名において宣言する。実現するための会議を開く！」

E 10 会議のために人が集まってくる。

3 2 城門に人が入っていく遠景。

人々の顔のアップ。貴族、商人、農民。

ミニネーム



1652720892168.jpg





1652720892288.jpg

## メモ

2022/05/17AM2:12

東京ネームタンクでネームの書き方を習う。  
漫画は書けないので最終的には小説になる予定。  
情報の整理をネームでする。

娘の感想は、「素材は悪くないのに料理が下手=面白さが伝わる表現が出来てない」でした。

つまらなくなる理由は、事実を書いていて、感じてることを伝えようとしてないからが結論。

バニラには世界がどうみえているか？  
を書く必要がある。

あとガイドがないから読みにくい。

問題点は分かっても改善の仕方がわからない。

今死んだからなかったことになって辛いので、途中経過を公開します。



---

魔女と王さま 一言ネーム04 ミニネーム

---

著 ELYE

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---